

ネパール女性と災害としての戦争 Prabha Thacker さん（ネパール）

この報告書では、人間の安全保障が不在である状態、つまり戦争や自然災害、政治状況を「災害」と解釈します。今日世界中で、災害とその影響を如実に表わすのは、権力の手段として暴力を用いる戦争だといえます。武力紛争は、戦場に出る者だけでなく、敵対する派閥間の憎しみの網にからまった、罪もない一般市民の生命も見逃してはくれません。

貧困と社会的排斥が世界中の紛争の原因であるといわれています。ネパールでは、これらを軽減することができなかつたと、開発事業に対する幻滅が問題視されています。開発とは人びとにより多くの選択肢が与えられることだという理解のもと、UNDP（国連開発計画）が1990年代に最初の人間開発報告を出して以来、私たちは大きな進歩をとげました。1996年以降は、人間開発の定義に、エンパワーメント、協力、平等、持続可能性、安全保障などの新しい要素が加えられました。

世界中の草の根市民団体と協力し、長年にわたり総合的な開発の仕事を行ってきたロバート・チェンバースの言葉に、『困窮』とは収入の欠如のみを意味するわけではなく、よって経済成長だけで解決できるものではない。（1995年）」とあります。また、『社会的剥奪、権力のないこと、屈辱』が困窮と災害の特徴である。」とも言っています。

ネパールが民主主義への移行過程で直面している自然および政治災害のなかで、政府は反政府勢力にもっとも手を焼いており、開発だけでは国民の安全は確保できないことを示しています。実のところ、情勢が不安定なために、開発によって得られたものは相殺されています。ネパールは、1990年代の民主主義化運動において政党が決定的な役割を果たせなかったことに対する国民の幻滅を利用し、反政府勢力が武装蜂起をおおっているという現状です。

軍部であれ反政府勢力であれ占拠された地域では、貧しい農村女性が売春を強要されています。夫が家から引きずり出され殺害されるのを目の当たりにした女性もあります。敵対する双方による残虐行為のために、男女を問わずたくさんの人たちが非法に殺されたり、「失踪」したり、拷問を受けたりするのも日常茶飯事になっています。

これまでに1万2千人以上が殺され、何百人もの人が行方不明になり、何千人（ほとんど女性と子ども）もの人が土地を追われました。若くて健康な男たちは女性や子どもを残して、隣国のインドや危険の少ない町へ逃げて行きました。子どもや男たちが反政府主義勢力の兵卒に強制徴用されるのをおそれて、家族自身が逃がしているのです。児童兵士は

めずらしいことではなくなりました。急速にふくれ上がる人口は、女性が 50%を占め、42%が 15 才未満です。この国の前途は明るいものとはいえません。

先ごろ、政府自ら、政策に欠点があり、適切な統治ができていないことを認めました。貧困問題や戦争に巻き込まれた女性に特有の問題に取り組むために、紛争緩和の中で女性を主流化しようとするとき、社会的一体性と社会正義が絶対必要です。ミレニアム開発目標の精神を反映した、女性の平和と安全保障に関する国連安全保障委員会決議第 1325 号は、紛争阻止、平和維持、紛争後の復興のすべての局面に女性を参加させ、女性の意見を求めることを掲げています。

しかし、これが現実になるのはいつのことでしょうか？ 紛争の現実は以下の通りです。

- ・ 民間人（主に女性と子ども）が軍部と反政府主義勢力の両方によって殺害されている。
- ・ 家宅侵入、レイプ、強奪が頻繁に起きている。
- ・ 一部の特権階級にとっては紛争状態が金もうけの機会になっている。
- ・ 1950 年以来、ネパールが依存している海外援助は、貧困層まで届かず、被援助国に対する援助国の説明責任に疑問が持たれるようになりつつある。

ネパールでいま批判をあびている海外援助の使用目的として、紛争解決に関する教育訓練としてのワークショップや会議の開催があり、その数は増えています。事業活動として「教育訓練」を行なうことは援助国にとっては受け入れやすく、NGO やコミュニティ組織はこの種の活動のための資金集めをどんどん行っています。このような活動は、紛争の火に油を注ぐものであると厳しく非難されています。特に、女性のように排斥されている社会層は、日々の重労働や、生き延びるために日銭を稼がなくてはならない等の理由で、これらの活動に加わることができません。よって、これらの活動は特権階級だけのものになっているのです。

ミレニアム開発目標を達成するには、地方政府における財源やより大きな発言力が必要であることはもちろん、地元レベルでサービスを提供してくれる多くの効率的な組織が必要になるでしょう。開発自体が、市民やコミュニティの安全を保障するわけではありません。安全保障が開発論議の一部となるようにしていくことが重要です。



夫が紛争に巻き込まれたことを聞き
ショックを受ける女性